



小室みえこの議会報告

発行：市民ネットワーク・のだ 小室みえこ
野田市山崎2694 C-302 TEL7125-8539

新型コロナウイルスによる自粛が続いています。感染しない行動が肝心ですが、こんな時だからこそ、意見や要望を発信していきましょう。私たちは主権者です。

2020年度一般会計予算

【賛成】

◆職員体制の見直し

小室 公務員の見直し



削減を望む声があることは承知しています。しかし、本当に必要なところに正規の職員を配置することは、市民生活、市民サービスにも影響します。特に今後災害を想定した配置に加え、これまでも主張してきた教育や福祉の分野には、正規職員やスペシャリストの配置が必要です。新年度の職員体制の見直しがありました。

◆交通不便地域支援事業

小室 野田自動車教習所の協力により、「小山地区」「木野崎地区の一部」をモデル地区とし、交通不便地区対策を開始することになりました。まめバスの運行の見直しを継続しています。どうしても移動手段に不便な地域が出てきます。試験的ですが、病院や商業施設へ運行するそうです。不便を感じている地区はほかにもあり、地区の拡大を期待します。

◆子ども医療費助成事業を拡大

これまで3歳までだった自己負担の無償化を8月より就学前のすべての児童を対象とすることになりました。

小室 乳幼児期の医療費の負担を減らすことには賛成です。しかし、医療に頼るだけでなく日々の食事を大事にして添加物や農薬などに配慮すべきとコメントしました。

◆水路の浚渫工事

小室 栗堀川や白鷺川など浚渫工事がわずかですが進みそうです。気候変動に伴う水害対策が不可欠です。

【反対】

◆指定管理者制度を保育所、福祉施設、文化に関する公共施設に導入

小室 指定管理者制度導入の主な目的は経費削減です。人に関わる施設や文化施設等に、人件費を始めとする経費の削減はなじまないといわれています。でも反対してきました。昨年は郷土博物館が認定期間の途中で解散する事態となりました。

◆会計年度任用制度による任用

小室 市の職員に対する制度に反対しました。処遇改善の対象になり、期末手当や場合によっては退職手当も支給されず。しかし、名称のおおりに1会計年度の任期です。再任用の場合でも3年から5年です。経験や知識の継続が絶たれ、働く側の生活の糧としての収入も不安定となります。高齢化、市民生活の多様化、防災・減災に

しつかり対応できる体制のためにも必要などころに必要な正規職員の配置を求めます。

◆個人番号制度を推奨

小室 公務員への普及が行われています。保険証の機能を持たせること、ポイント還元等を進めて発行を促すことに反対です。システム改修やセキュリティ強化等の国税が投入され、発行率を求められます。

◆ごみ袋の記名ルールについて

小室 記名式に反対し続けていますが、新年度もフルネームの記名ルールとされました。自治会に記名できない理由を相談すると「偽名でも記入して」というルールにどんな意味があるのでしょうか。

◆梅郷駅西口の自転車駐輪場の有料化について

小室 周辺の民間駐輪場を圧迫しない料金設定としているので高い設定です。東口の駐輪場の利用率が31.04%と低く東口への誘導ともみられますが、利用者にとっては迷惑な料金設定です。また学割等についての見直しを予算委員会で質問したところ野田市自転車等駐車対策協議会に諮って検討していくという答弁でした。子育て支援の観点からも必要です。

